

平成27年度第1回羽幌町社会教育委員会議

並びに羽幌町公民館運営審議会議事録

- 1 日 時 平成27年5月11日（月曜日）
午後6時00から午後7時40分
- 2 場 所 羽幌町中央公民館3階：会議室
- 3 出席者 大水隆司、長谷川博、本間範子、松森克彦、松葉師正、
小國美恵子、大長 司、山田 守
山口教育長、湊課長、永原補佐、大西係長
- 4 委嘱状の交付（4月1日異動分）
教育長から新委員（2名）へ委嘱状を交付
- 5 挨拶
羽幌町教育委員会 山口教育長より挨拶
羽幌町社会教育委員 大長委員長より挨拶
- 6 議事
大長委員長により進行

(1)報告事項

①平成26年度社会教育施設利用状況について

- ・議案資料により説明。
- ・焼尻郷土館利用者は、イベントの宝探しの参加者分の入場者が入っていない。
- ・スポーツ公園の利用減は、一昨年は国体開催等大きな大会があったもの。南町運動広場の利用減については、登録団体の減少によるところと、同じく国体開催の関係によるところが大きいと思われる。
- ・中央公民館の利用増については、大ホールでの演奏会等大きな事業開催による。
- ・学校体育施設開放事業の利用で、羽幌小学校プールの利用減は天候により水温低下による開設日の減によるもの。
- ・総合体育館の利用減は、登録団体の減少によるもの。高齢化にともない利用団体が減少している。

②平成26年度社会教育事業計画書について

- ・別冊資料のとおり説明。

- ・事業計画への記載はしていないが、平成26年度の繰越として、地方創生事業がある。スポーツイベント活性化事業と郷土芸能活性化事業を行う。
- ・スポーツイベント活性化事業は、7月と10月のマラソン大会に有名選手を招致と、マラソンの計測器の購入を行い事業を活性化するもの
- ・郷土芸能活性化事業は、郷土芸能団体への補助をはじめ、羽幌神社祭に係る実行委員会へイベントの周知や活性化のための補助を行うもの。今後具体的に団体に周知していく。

③大会・研修会等について

- ・議案資料により説明

④社会教育事業参観記録について

- ・各委員において、活用し、感想、意見等を参観記録という形で報告いただくよう依頼。

⑤平成27年度 社会教育課関係行事予定表を配付

【質疑、意見等】

質疑：施設利用には、観覧者の人数は入っているか？純粹たる競技者のみか？

回答：施設利用として届出のあった人数であり、観覧者はいっていない。

意見：見てくれる人が利用者かといえ、そうではないかも知れないが、多くの人が来ている、参加していることも重要。数には見えない部分もある。

意見：施設の老朽化などで人を呼べない部分は仕方ないが、総合体育館はPRの仕方によっては、人を呼ぶことはできる。こんな田舎にこんな立派な体育館があるとの声がある。もっとPRしたい。

質疑：地方創生事業は、団体での衣装購入なども対象になるのか。

回答：対象となる。補助要綱により、食料費などは対象とならないが、1団体40万円を上限の予定。5年間の期限をもって継続の予定です。

質疑：子ども自然教室は、何人の申し込みがあったか？

回答：50数名の申し込みがあったが、職員で対応できる範囲として全員受

け入れすることとした。

意見：いろいろとやっていて大変いい活動をしていると思います。

質疑：焼尻郷土館の改修期間は、中を見ることはできるのか。

回答：改修は主に屋根の張替えであり、内部を見るのには影響ない。改修について周知をしていきたい。

質疑：「こども110番の家」について、長年やっていると意識が薄れる場合がある。意思確認と、新規募集などはどうやっているのか。

回答：事業開始の年度において募集し、応募された事業所にやっていたている。毎年度、協力事業所に文書でお願いし、意思確認は行っているが、今年度もこれから行う。意識が薄れることのないよう周知方法等は検討する。通学路との関連もあるので、新規募集については毎年度は行っていないが考えたい。

質疑：元気いい人向けの事業が多い。不登校は学校がやってくれるが、学校卒業後に行き場所のないような人、ひきこもりや働けないでいるような人に向けた事業がないように思うが。

回答：公民館を会場にしてそういった事業をボランティア等で実施は可能とは思いますが、福祉関係部局との連携も必要であり、今後の課題としたい。

質疑：子どもフェスティバルは子どもたちも楽しみにしており大変いい事業と思うが、子ども会育成連絡協議会については、現在、子ども会などどのくらいか？

子ども会のない町内にも案内がくるが、案内は不要ではないのか？

回答：子ども会が実際に活動しているのは町内でも数少ない。子ども会のない町内には、町内会へ案内し、育成部長さんなどに参加いただいている。「子ども会育成」という名前ではあるが、羽幌町の子どもを育成するという意識で参加いただければと思う。

次年度以降、案内の中でその旨記して案内するようしていきたい。